

生 物

第1問

ヒトゲノムに関する次の文章を読み、下の問1～問6に答えよ。

ヒトゲノムの全塩基配列を解読する計画は1990年に開始され、塩基配列の解読技術が発達したこともあり、2003年にはその解読の完了が宣言された。ヒトゲノムを構成するDNAは約30億塩基対からなるが、遺伝子はその2%程度に過ぎない。遺伝子の発現とはa DNAの保持する遺伝情報がRNAの配列に写され、さらにb その情報を元にタンパク質が合成されることをいう。このような遺伝情報がDNAからRNAを経てタンパク質の順に一方向に伝達されるという考え方を(ア)と呼ぶ。

DNAは細胞分裂の過程で、基本的には正確に複製される。しかし、何らかの理由で正確に複製されないことや、ある種の化学物質や紫外線の影響などにより、DNAの塩基配列が変化してしまうことがある。また、塩基の挿入や欠失、染色体の数の変化が生じることもある。このように遺伝情報が変わることを(イ)という。c (イ)は表現型に様々な影響を及ぼす。

また、d ヒトゲノムを構成するDNAの塩基配列には0.1%程度の個人差があり、この違いは私たちの個性はもちろんのこと、病気のかかりやすさや薬の効きやすさなどにも関わっていると予想されている。個人のゲノムを検査することにより、それぞれにマッチした「オーダーメイド医療」も将来的には実現可能である。

問1 文章中の(ア)、(イ)に最も適切な語句を入れよ。

問2 下線部aおよび下線部bの過程をそれぞれ何と呼ぶか答えよ。

問3 下線部aの過程は原核生物や真核生物において厳密に調節されているが、特に後者の方が複雑で多様である。下線部aの過程に関する次の(1)、(2)に答えよ。

(1) 下線部aの過程を開始させるために必要な酵素はRNAポリメラーゼである。遺伝子には、RNAポリメラーゼが結合し、下線部aの過程を開始させる特定の塩基配列が存在する。この塩基配列を何と呼ぶか答えよ。

(2) 真核生物では、RNAポリメラーゼと(1)で答えた塩基配列が存在するだけでは、下線部aの過程は開始されない。その理由を以下の用語をすべて用いて150字以内で説明せよ。

用語： RNAポリメラーゼ、クロマチン、基本転写因子

問4 下線部aから下線部bに至る過程は原核生物や真核生物においてほとんど共通しているが、大きく異なる点もある。下線部a、下線部bそれぞれの反応が行われる場に注目して、その違いを以下の用語をすべて用いて80字以内で説明せよ。

用語：スプライシング、核、細胞質

問5 下線部cの例としてヒトかま状赤血球貧血症が挙げられる。かま状赤血球貧血症は、ヘモグロビンを構成する二種類のポリペプチドの一つ、β-グロビンの遺伝子のある特定の塩基が置換することが原因となる。図1に示すのは正常なヒトβ-グロビン遺伝子のmRNAの塩基配列の一部で、図中、下線を施したAUG(AUG)は開始コドンを示し、かま状赤血球貧血症患者では二重下線を施したA(A)がUに置換している。この置換の結果、かま状赤血球貧血症患者のβ-グロビンと正常なβ-グロビンとでは一箇所だけアミノ酸が異なる。次ページに示す表1の遺伝暗号表を用いて、どのアミノ酸がどのアミノ酸に変化するか答えよ。さらに、その変化するアミノ酸の両隣のアミノ酸を答えよ。

1 ACAUUUGCUU CUGACACAAC UGUGUUCACU AGCAACCUCA AACAGACACC AUGGUGCAUC
61 UGACUCCUGA GGAGAAGUCU GCCGUUACUG CCCUGUGGGG CAAGGUGAAC GUGGAUGAAG

図1 ヒトβ-グロビン遺伝子のmRNAの塩基配列 図中の数字はmRNAの塩基番号を示す。(アクセスション番号NM_000518から一部分を抜粋)

表1 遺伝暗号表

(次のページにも問題があります。)

		コドンの2番目の塩基								
		U	C	A	G					
コ ド ン の 1 番 目 の 塩 基	U	UUU UUC UUA UUG	フェニルアラニン セリン	UCU UCC UCA UCG	UAU UAC UAA UAG	チロシン 終止コドン 終止コドン	UGU UGC UGA UGG	システイン 終止コドン トリプトファン	U C A G	コ ド ン の 3 番 目 の 塩 基
		CUU CUC CUA CUG	ロイシン	CCU CCC CCA CCG	CAU CAC CAA CAG	ヒスチジン グルタミン	CGU CGC CGA CGG	アルギニン	U C A G	
		AUU AUC AUA AUG	イソロイシン メチオニン(開始コドン)	ACU ACC ACA ACG	AAU AAC AAA AAG	アスパラギン リシン	AGU AGC AGA AGG	セリン アルギニン	U C A G	
		GUU GUC GUA GUG	バリン	GCU GCC GCA GCG	GAU GAC GAA GAG	アスパラギン酸 グルタミン酸	GGU GGC GGA GGG	グリシン	U C A G	
	A									

問6 下線部 d のように、個体間で DNA の塩基配列に違いがあることを DNA 多型と呼ぶ。DNA 多型に関する次の(1), (2)に答えよ。

(1) ゲノム DNA の特定部位のある塩基が 1 塩基単位で個体ごとに異なる箇所を何と呼ぶか答えよ。

(2) DNA 多型に関する次の①～⑤の記述のうち、正しいものをすべて選び番号で答えよ。

- ① タンパク質の機能に影響を与えない DNA 多型もある。
- ② 短い塩基配列の繰り返し数の違いも DNA 多型の一種である。
- ③ DNA 多型は父方の染色体からは受け継がれない。
- ④ DNA 多型は PCR 法では検出できない。
- ⑤ DNA 多型はヒトに見られる特有の性質である。

第2問

次の文章を読み、下の問1～問3に答えよ。

血液は、液体成分の（ア）と、（イ）、（ウ）、（エ）といった有形成分の血球からなっている。（イ）は酸素を運ぶ細胞として特殊化したものであり、酸素と結合する性質を持つヘモグロビンと呼ばれる鉄を含んだタンパク質を多量に含む。（ウ）にはリンパ球やマクロファージなど様々な種類があるが、いずれも生体防御のうえで重要な役割を担っている。（エ）は核をもたない小さな細胞で、血液凝固を引き起こし、出血を止めるはたらきがある。

問1 文章中の（ア）～（エ）に最も適切な語句を入れよ。

問2 下の図2は、肺と組織における酸素濃度と全ヘモグロビンに対する酸素ヘモグロビンの割合の関係を示したグラフである。このグラフに関する次の（1）～（4）に答えよ。

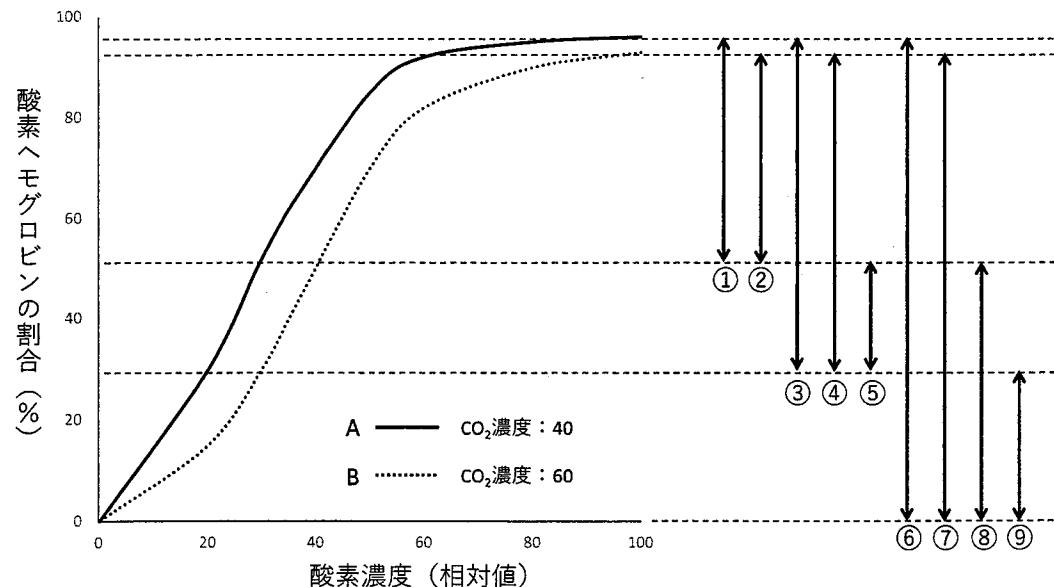


図2

(1) 図中A、Bの曲線は、肺または組織での酸素濃度と全ヘモグロビンに対する酸素ヘモグロビンの割合の関係を表している。どちらが肺でどちらが組織に相当するか答えよ。

(2) このグラフのように、酸素の濃度によって、酸素ヘモグロビンの割合がどのように変化するか示した曲線を一般的に何というか。その名称を記せ。

(3) 肺、組織の酸素濃度(相対値)をそれぞれ100、30とした場合、肺、組織での血液中の酸素ヘモグロビンの割合に最も近い値を次のあ～くの中から選び、それぞれ答えよ。

- | | | | |
|--------|--------|-------|-------|
| あ 105% | い 102% | う 96% | え 90% |
| お 60% | か 52% | き 30% | く 20% |

(4) 図2のグラフに示す①～⑨の矢印のうち、組織で離される酸素の量に相当する酸素ヘモグロビンの割合を示すものとして最も適切なものを選び番号で答えよ。

問3 図2に基づき、ヘモグロビンが肺で酸素を受け取り、その酸素を組織にわたす仕組みについて200字以内で説明せよ。

第3問

次の文章を読み、下の問1～問4に答えよ。

有性生殖を行う生物では、2つの（ア）の合体によって子が生じる。（ア）は1個の母細胞の（イ）分裂により4個形成され、母細胞の（ウ）染色体のどちらか一方をランダムに受け継ぐ。また（イ）分裂の過程で、（エ）と呼ばれる染色体の部分的な交換によって、遺伝子の組換えがおこることもある。したがつて、a 有性生殖で生じた個体の遺伝的な性質には多様性が生じる。

一方、（ア）によらない生殖法である無性生殖では、分裂、出芽、栄養生殖などの方法が知られている。無性生殖では親の染色体のコピーが新個体に受け渡されるため、b 無性生殖で生じた個体の遺伝的な性質はまったく同じになる。 c このような遺伝的に同じ生物、またはその集団を（オ）という。

問1 （ア）～（オ）に最も適切な語句を入れよ。

問2 下線部aに関するスイートピーの交配実験について、次の（1）～（3）の問い合わせよ。ただし、スイートピーの対立遺伝子について、以下の遺伝子が存在するとする。

- ・ 青紫色の花の表現型を与える優性遺伝子Aと
赤色の花の表現型を与える劣性遺伝子a
- ・ 長花粉の表現型を与える優性遺伝子Bと
丸花粉の表現型を与える劣性遺伝子b

(1) 2組の対立遺伝子A, aとB, bが独立していると仮定し、AaBbの遺伝子型をもつスイートピーどうしを掛け合わせた際の雑種第一代の表現型の比率を答えよ。

(2) Aとbが連鎖、aとBが連鎖しており、遺伝子間での組換えが起きないと仮定し、AaBbの遺伝子型をもつスイートピーどうしを掛け合わせた際の雑種第一代の表現型の比率を答えよ。

(3) Aとbが連鎖、aとBが連鎖しており、遺伝子間の組換え率が10%と仮定し、AaBbの遺伝子型をもつスイートピーどうしを掛け合わせた際の雑種第一代の表現型の比率を答えよ。

問3 下線部bから、有性生殖に比べ無性生殖は遺伝的多様性を生み出す上では不利と考えられる。それにも関わらず、地球上には多くの無性生殖を行う生物が存在している。無性生殖を行う生物が有性生殖を行う生物に比べて有利な点を簡潔に説明せよ。

問4 下線部cに関して、1960年代にガードンは、有性生殖を行う生物において、遺伝的に同じ生物の集団を作り出す実験を行った。その実験手法は、アフリカツメガエルの幼生の小腸の上皮細胞の核を、紫外線照射により核を破壊した未受精卵に移植することであった。実験の結果、小腸の上皮細胞の核を移植された未受精卵が成体にまで成長できることが示された。一方、移植を行わなかった未受精卵は成体にまで成長しなかった。この実験ではじめて明らかになったことを次の①～⑥から一つ選び番号で答えよ。

- ① 分化した細胞の核に、全身の細胞を形成するために必要な遺伝情報が存在する。
- ② 分化した細胞の核に、全身の細胞を形成するために必要な遺伝情報が存在しない。
- ③ 未受精卵の核に、全身の細胞を形成するために必要な遺伝情報が存在する。
- ④ 未受精卵の核に、全身の細胞を形成するために必要な遺伝情報が存在しない。
- ⑤ 未受精卵は紫外線照射により成体にまで成長できる。
- ⑥ 未受精卵の核と小腸上皮細胞の核は同一である。

第4問

植生の遷移に関する次の文章を読み、下の問1～問4に答えよ。

ある地域に生育する植物の集まりを、植生という。植物は自ら移動できないため、植生は気温や降水量などの環境要因に大きく影響される。そのため、地球上には a その地域の環境に適応した植物種から構成される植生が発達する。

ある地域の植生が時間とともに次第に変化していくことを遷移という。遷移の初期に侵入する植物種を（ア）という。何が（ア）となるかは場所によって異なるが、（ア）の果実や種子は小型で軽く、風で遠くまで運ばれやすいものが多く、例えば（イ）などが挙げられる。遷移が進んで森林が発達し、b 森林を構成する植物の種類に大きな変化がみられなくなった状態（極相）において、占有している面積が最も大きく量的な割合が高い植物種を（ウ）という。（ウ）の果実や種子は大型のものが多く、例えば（エ）などが挙げられる。極相を構成する樹木種は、芽生えや幼木が日当たりの悪い場所でも生育可能である陰樹が多くみられる。

問1 文章中の（ア）～（エ）に入る語句として最も適切なものを、次の

①～⑫のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- | | | |
|-----------------|------------|------------|
| ① 生態的同位種 | ② 優占種 | ③ 個体群 |
| ④ 先駆種（パイオニア種） | ⑤ 外来種 | ⑥ キーストーン種 |
| ⑦ ススキやイタドリ | ⑧ ススキやコマクサ | ⑨ ススキやミズナラ |
| ⑩ アカマツやアラカシ | ⑪ タブノキやブナ | |
| ⑫ スダジイやオオバヤシャブシ | | |

問2 下線部 a について、ここでいう「適応」の例として適切なものを次の①～⑤からすべて選び、番号で答えよ。

- ① 乾燥した地域では生育する植物の種類が少なく、サボテンやトウダイグサのなかまのように、植物体内に水分を蓄えることのできる植物が生育している。

- ② 夏緑樹林の林床に生育するカタクリは、森林の上層にある木々が芽吹く前に芽を出し、光合成を行って栄養分を地下部に蓄え、林冠が閉鎖して林床に光が届かなくなる頃には休眠する。
- ③ セイタカアワダチソウは、ある種の化学物質を分泌し、他種の種子の発芽や成長を抑制する。
- ④ マメ科植物は光合成により生産された炭水化物を根粒菌に提供し、根粒菌は大気中の窒素を固定して得られた窒素化合物をマメ科植物に提供する。
- ⑤ ダイズをさまざまな個体群密度で栽培し一定時間が経過すると、発芽前の種子の重量が同じでも、個体群密度の低い方が個体群密度の高い方よりも個体の平均重量が大きくなる。

問3 植生の遷移は大きく一次遷移と二次遷移に分けられる。陸上における一次遷移と二次遷移の始まる状態について、両者の違いがわかるように 150 字以内で説明せよ。

問4 下線部 b について、実際の森林では台風や伐採などによるかく乱があり、森林の一部が破壊されて林内に光が差し込むようになる。このような場所を何と呼ぶか、その名称を答えよ。また、かく乱が中規模であり、局所的に強い光が林内に差し込むようになった場合、どのような植物が生育できるようになり、植物の種の多様性はどのように変化するか、50 字以内で説明せよ。